

# ありがとう、 思い出いっぱいの学び舎よ!



少子化の進む愛南町では、平成22年度末に小・中学校4校が一度に閉校となりました。

西海中学校(19日)、福浦中学校(20日)、西浦小学校(26日)、満倉小学校(27日)の閉校式は、児童・生徒、教職員をはじめ多数の地区住民が集う中、それぞれ学校の体育館で厳かに執り行われました。

式典では清水町長が、「地域の皆様には、子ども達の未来のためによりよい教育環境をという観点から統合という英断をいただきました。このような大局的な視点に立ってご理解を賜りましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。児童・生徒の皆さんは、新しい環境の中でもしっかりと頑張ってほしいと思います。」と式辞を述べ、田村教育長が閉校に至る経過説明を行いました。

校長・PTA会長の挨拶の後、最後に児童・生徒代表と校長が有馬ユウコ子教育委員長に校旗を返納し、その長い歴史に幕を閉じました。

式典の後、最後となる児童・生徒集会があり、それぞれの学校の歴史や輝かしい記録などが紹介され、在校生と同窓生と一緒に校歌を歌うなど母校の閉校を惜しんでいました。